

国語

【特に正答率の高かった設問】

◎ 知識・技能を問う問題

- ・ 文脈に即して漢字を正しく書く。 ・ 漢字の行書の読みやすい書き方について理解する。

〈実際の問題A〉

草を取りのぞく作業
〈正解〉 除く



漢字テストの定期的な実施、基本事項の復習を行っている効果が見られます。

〈実際の問題B〉

「バランスが悪い」その具体的な内容は何か

- 1 画数の多い「夢」が他の字より小さい
- 2 画数の少ない「希」が他の字より大きい
- 3 「望」について部首と他の部分とが離れすぎている
- 4 「希」「望」について行の中心がずれている

〈正解〉 4



【課題が見られた設問】

△書くこと：自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く。

〈実際の問題C〉

意見文中の□の後に、スマート農業の効果について、【スマート農業の効果】の資料から必要な情報を引用し、解答欄の「例えば、」に続くように書き加えなさい。

〈正答の条件〉

- ① 【スマート農業の効果】から適切な情報を抜き出している。
- ② 引用する部分を「 」でくくっている
- ③ 「例えば、」に続くように書いている。

【意見文の下書き】

私たちの生活は、先端技術により、わずかな期間で大きく様変わりしてきている。便利なことが増えてよいと感じるが、目的に応じて選択して活用することが大切だと思う。

そう考えるようになったのは、農業を営み、広大な農地を二人で管理している祖父母に、スマート農業についての話を聞いたからだ。祖父母は、今年に入ってからロボットトラクタを導入し、作業の一部を自動化した。そのおかげで、農地を耕したり種をまいたりすることに加え、草を取りのぞく作業も効率よく進むようになったという。負担が軽減したことをよるこんでいる祖父母に、他に取り入れているものはないかを聞いてみた。すると、「スマート農業に関連する様々な先端技術はあるが、これまでの経験を生かして対応できるので、他には取り入れていない。」とのことだった。スマート農業には、作業を自動化すること以外の効果もあるようだ。しかし、祖父母は、自分たちに必要なものを選択して活用していた。

これは、私達も意識しなければならないことだと思った。今後、身の回りには様々な先端技術がさらに普及していくだろう。私も祖父母のように、目的に応じて選択しながら先端技術を活用していきたい。

スマート農業の効果

- ① 作業の自動化
ロボットトラクタ、スマホで操作する水田の水管理システムなどの活用により、作業を自動化し人手を省くことが可能に
- ② 情報共有の簡易化
位置情報と連動した経営管理アプリの活用により、作業の記録をデジタル化・自動化し、熟練者でなくても生産活動の主体になることが可能に
- ③ データの活用
ドローン・衛星によるセンシングデータや気象データのAI解析により、農作物の生育や病虫害を予測し、高度な農業経営が可能に

【今後の対策】

文章を読み、それについて自分の意見や考えを書いたり話し合ったりする機会を増やします。また、その意見の根拠となる適切な資料や体験をふまえ、条件に従って書く活動を増やしていきます。